



Investors' Guide 2016

2016年2月期 インベスターズガイド

U.S.M.Holdings

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス 株式会社



マックスバリュ関東株式会社

U.S.M.Holdingsの経営理念

基本理念

私たちは

- お客さまの豊かで健康的な食生活に貢献します
- 地域の発展と繁栄を願い、地域に深く根ざした企業となります
- 常に革新と挑戦を続け、時代に適応する企業であり続けます

目指す姿 (ビジョン)

私たちは

- 多様なライフスタイルに最適な商品やサービスを提供し、お客さまの豊かで健康的な食生活の実現に貢献します
- 従業員の能力の育成・活用や人財の交流を進め、全従業員が自らの成長を実感できる企業風土を目指します
- 参画事業会社の企業価値を最大化し、永続的に発展(成長)し続けます
- お客さまのためにビジネスパートナー(お取引先さま)と公正な取引を通して新たな価値を創造します
- 各地域のニーズに応える個社それぞれの経営を尊重し、公正で透明性の高いガバナンスを通して、志を同じくする新たな参画企業を歓迎します

U.S.M.Holdingsアウトライン

株式会社マルエツ

1945年創業、2016年2月末時点の総店舗数は285店舗。「マルエツ」「マルエツブチ」「リンコス」などの屋号で立地にあった店舗を展開し順調に業容を拡大。2015年10月に創業70周年を迎えた。(詳細はP5へ)



U.S.M.Holdings

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス 株式会社

3社の経営ノウハウを
さらに進化させ
新たな価値を創造・提供

株式会社カスミ

1961年創業、2016年2月末時点の総店舗数は170店舗。自主自律型の店舗運営「ソーシャルシフトの経営」の下、3つのフォーマットで、地域密着の店舗を展開。(詳細はP6へ)



カスミ

マックスバリュ関東株式会社

2009年創業、2016年2月末時点の総店舗数は39店舗。「安全安心」「ライフスタイルに対応」「地産地消」を常に大切にしながら、美味しさと便利さを志向するスーパーマーケットを展開。(詳細はP7へ)



MaxValu
マックスバリュ関東株式会社

地域密着・地域社会との
共生を極め、
さらなる企業価値の
向上を目指してまいります。



代表取締役会長
小 濱 裕 正

代表取締役社長
上 田 真

2015年3月2日、ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社(U.S.M.Holdings)は、株式会社マルエツ、株式会社カスミおよびマックスバリュ関東株式会社の共同持株会社として設立いたしました。

関東1都6県を網羅する首都圏最大級のスーパーマーケット連合、業界トップクラスの売上規模、1日110万人を超えるお客さま、各店舗の地域との繋がり等、これら多方面にわたる強さと将来への可能性を武器に、U.S.M.Holdingsは日々進化を続けています。

U.S.M.Holdings設立の背景

スーパーマーケット業界は全国各地で業界内の競争に加えて、ディスカウントストアやコンビニエンスストア、ドラッグストア、Eコマース、食事宅配等との、業界を超えた競争が激しさを増しており、業界再編の動きも活発化しつつあります。

このように大きく環境が変化する中で、企業間競争に勝ち残っていくためには、お客さまの多様なライフスタイルに最適な商品やサービスをご提供していくという「新たな価値の創造」により、企業価値の最大化を図ることが不可欠な状況です。

個を生かす統合

マルエツ、カスミおよびマックスバリュ関東の3社は共通する理念「お客さま第一」「地域社会への貢献」の下、お客

さまに豊かな食生活をご提供する、質と規模の両面で首都圏ナンバーワンスーパーマーケットを目指しています。そのため、首都圏の市場規模に相応しいスーパーマーケット連合体を形成し、各社の総力を結集して革新を図る必要があるとの共通認識に基づき、この度の経営統合が実現いたしました。

今回の経営統合に際し、私たちは共同持株会社設立という方式を採用いたしました。これにより、これまで3社が長年培ってきたブランド力を損なうことなく、各社の自主自律の経営が尊重され、継続して地域に密着したサービスを展開できるものと考えたからであります。換言すれば、事業会社が主体となったものがまず商売のベースにあって、その中でお客さまに付加価値として感じていただけるものを新たに創出していくのが、ホールディングスの役割だと考えております。

今後の展望

U.S.M.Holdingsは、3社が力を結集してスケールメリットを享受し、お互いに成長を続けるとともに、志を同じくする首都圏のスーパーマーケット企業の参画を歓迎し、2021年2月期において営業収益1兆円、1,000店舗体制の構築を目指してまいります。どうぞこれからのU.S.M.Holdingsグループにご期待ください。

お客さま満足度を高めるフォーマットで店舗展開をしています。

株式会社マルエツ

マルエツのブランド展開



毎日楽しくお買い物をしていただけるよう生鮮食品を中心とした「マルエツ」、都市部で生活するお客さまをターゲットとした都市型スーパーマーケット「マルエツ プチ」、ハイクオリティな品揃えとサービスを備えた高品質スーパーマーケット「リンコス」(中国2店舗を含む)を展開しております。



マルエツ



マルエツ プチ



リンコス



リンコス (中国)

株式会社カスミ

カスミのブランド展開



食卓への提案機能を高めたフラッグシップ店舗「フードスクエア」、地域の食習慣や生活催事に応える標準店舗「フードマーケット」、エブリデイ・ロー・プライスを追求する価格訴求型店舗「FOOD OFF ストッカー」を展開しております。



フードスクエア



フードマーケット



FOOD OFF ストッカー

マックスバリュ関東株式会社

マックスバリュ関東のブランド展開



日々の食生活に必要な商品を最大限のバリュ(品質・価格・品揃え・サービス)で提供する「マックスバリュ」、毎日食べる商品が毎日安い・毎日発見のある売場・毎日来たい便利なお店、をコンセプトとした「マックスバリュエクスプレス」を展開しております。



マックスバリュ



マックスバリュエクスプレス

首都圏市場で地域密着型の展開を進めております。

国内で最も肥沃かつ有望な首都圏市場で地域密着を極める

当社グループが営業基盤とする首都圏市場は、さらなる人口流入や海外からの旅行者の需要増など、今後も持続的な成長が期待される国内で最も肥沃かつ有望な市場と言えます。このような市場を舞台に、ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングスは誕生いたしました。当期末時点では関東1都6県に494店舗を展開し、“首都圏スーパーマーケット連合”として圧倒的シェアを誇ります。

一層のグループ成長においては、市場シェアやスケールメリットなど量的拡大は1つのポイントとなりますが、事業の基本である「地域密着」「地域のお客さまとの共生」といった質的向上も、また欠かすことができない重要なポイントとして捉えております。今後へ向けては都市型小型店にコンビニエンスストアのサービス機能の導入や、スーパーマーケットとドラッグストアなど異業態を複合させた業態づくりなども視野に入れ、真にお客さまから支持されるこれからの時代の新しいスーパーマーケットの確立に努めていく計画です。

2016年2月期では3社合計で30店舗を出店し、総店舗数は494店舗にまで拡大

当期におきましては、マルエツが16店舗、カスミが13店舗、マックスバリュ関東が1店舗、当社グループ計で30店舗を新設いたしました。一方、経営資源の効率化を図るため、マルエツが7店舗、カスミが2店舗、マックスバリュ関東が6店舗、当社グループ計で15店舗を閉鎖いたしました。その結果、当社グループの当期末の総店舗数は494店舗となっております。

〈サマリー〉

2016年2月期新規店舗

マルエツ飛田給店
東京都調布市



5/15

フードスクエアカスミ東習志野店
千葉県習志野市

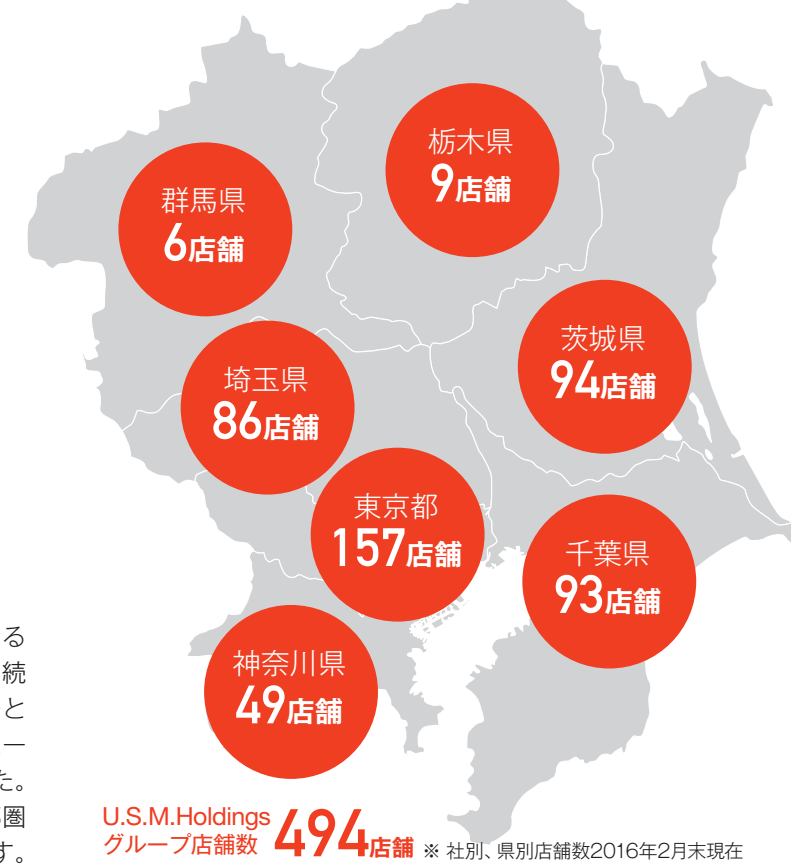


10/7

マックスバリュ成田富里店
千葉県成田市



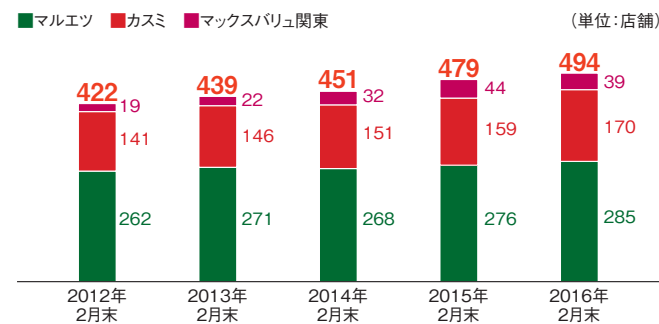
11/17



U.S.M.Holdings グループ店舗数 **494**店舗 ※ 社別、県別店舗数2016年2月末現在

	マルエツ	カスミ	マックスバリュ 関東
東京都	137	2	18
茨城県	1	92	1
千葉県	46	32	15
埼玉県	53	30	3
神奈川県	47	—	2
栃木県	1	8	—
群馬県	—	6	—
合 計	285	170	39

店舗数の推移(グラフ)



※ 中国の2店舗(マルエツ)は含まれておりません。

多様な店舗スタイルで 地域ニーズに対応

お客さまの“しあわせいかつ。”の実現に向けて

マルエツは首都圏最大の食品スーパーマーケットチェーンである一方、40坪の「マルエツ プチ」から1,500坪の「マルエツ」まで、多様な店舗スタイルで地域ニーズにお応えしているのが特徴です。中でも都市型小型店の「マルエツ プチ」については、食品スーパーマーケットの本質である生鮮3部門の強化が近年さらに進み、小型店でありながらも生切り身やお造りを品揃えするなど、コンビニとの差別化また都市部の買い物不便地域の解消に貢献しています。

2010年に誕生したプライベートブランド「maruetsu365」（マルエツさんろくご）も、マルエツを代表する特徴の1つです。「maruetsu365」では今ある商品よりも1つ良い点をプラスし、「お手頃なのに、プラスワンの価値がある」商品をラインアップ。リニューアルや新商品を随時追加しながら現在約245品目（2016年2月末現在）をご提供しており、大変ご好評をいただいております。

お陰様をもちましてマルエツは2015年10月に創業70周年を迎え、現在では毎日約65万人のお客さまにご利用いただける一大スーパーマーケットにまで成長いたしました。これからもお客さまから愛される笑顔と活気溢れるお店づくりを推進することで、今まで以上にお客さまとの絆を深め、皆さまの“しあわせいかつ。”の実現に向けて取り組んでまいります。

～2016年2月期の主な取り組み～

更なる「飛躍」に向けた「変貌」の年として、 経営の3つの進化に邁進

マルエツでは当期を「更なる『飛躍』に向けた『変貌』の年」と位置づけ、「競争力の進化」「生産性の進化」「マネジメント力の進化」を推進してまいりました。

具体的重点施策としては、青果部門による集客力向上、デリカ部門の主力商品のリニューアルによる活性化、生鮮センター加工商品の品揃え拡充など、生鮮・デリカの強化を図ってまいりました。一方、店舗面では改装・リニューアルによる既存店の活性化とともに、都心店統括部の店舗で実施している「勧告型自動発注システム」の導入拡大、「セミセルフレジ」の実験導入、伝票レス化の推進等により、生産性の改善に努めてまいりました。これら諸施策の奏功によりマルエツ（単体）の当期の営業収益は前期比5.9%増の363,259百万円となりました。

株式会社マルエツ 会社概要

本 社 所 在 地 東京都豊島区東池袋

創 業 1945年10月

資 本 金 375億円

店 舗 数 285店舗

従 業 員 数 15,609名

※2016年2月末現在



ソーシャルシフト経営が 育むカスミならではの価値

お客さまのために自ら考え行動し、地域で一番 愛される店舗を目指す「ソーシャルシフトの経営」

カスミが目指すのは、地域の1店1店がお客さまの声や従業員のアイデアを活かし、自主自律の店舗運営を行う「ソーシャルシフトの経営」（2013年～）です。そして、「お客さまのために」という企業理念をどうすれば実践できるか、その行動指針となる「カスミの価値観」（2014年～）に基づき、お客さま目線の売場、サービス、情報、提案の仕組みづくりに取り組んでおります。

ソーシャルシフト経営の実現による持続的成長の前提となるのが、店づくり・売場づくりにおける独自性の強化です。その一例ですが、地元で長く愛されてきたふるさとの味を「地域商品」として2001年から各店舗で販売を開始。現在ではカスミ全店で約3,800品目を取り扱っています。また、同年より、出店地域の生産農家と協力して「地元野菜コーナー」を展開。地元で採れた旬の野菜は、「新鮮でおいしい」「安心」とご好評をいただいております。地産地消の取り組みとして、お客さまからも支持されています。現在、およそ1,300名の生産農家の皆さまにご協力をいただき、138店舗で販売しています。このような地域に根ざした売場づくりや、さらには出店拡大による成長性の確保を相乗的に図りながら、ソーシャルシフト経営の着実な推進と持続的成長の実現を目指しております。

～2016年2月期の主な取り組み～

「ソーシャルシフトの経営」に基づく取り組みと 地域コミュニティとして機能する店づくり

「ソーシャルシフトの経営」に基づく取り組み3年目となる当期は、自主自律型の店舗運営を志向するソーシャルシフト店舗を123店舗にまで拡大いたしました。お客さま参加型のイベントや旬の食材を使った試食コーナーなど、店舗ごとに従業員が自主的に企画しています。

また、地域コミュニティとしても機能する店づくりを目指し、お客さまに憩い、集いの場として活用していただけるイートインコーナーの導入を推進しました。イートインコーナーを利用した料理教室や、体操教室、お子さまのお誕生日会など、地域ニーズに合わせ、その活用方法は、店舗によって様々です。

それらのイベントや売場づくりなどを社内フェイスブックにてリアルタイムで共有し、お客さま目線の売場・サービス・情報・提案に取り組むことで、地域の中で「わたしの店」と感じていただける店舗づくりを推進しました。これらの結果、カスミ（単体）の当期の営業収益は前期比6.7%増の249,000百万円となりました。

株式会社カスミ 会社概要

本 社 所 在 地 茨城県つくば市西大橋

創 業 1961年6月

資 本 金 144億円

店 舗 数 170店舗

従 業 員 数 10,245名

※2016年2月末現在



すべてを生活者視点で お客さまと地域を元気に

お客さまの生活行動やニーズに連動して、 常に新しいお買い物環境を創造・提供

マックスバリュ関東は、徹底して地域のお客さまの生活行動を売場づくりに反映する取り組みを行っております。4月では新生活スタートやお花見、5月ではゴールデンウィークや母の日など、週単位でテーマを設けて商品の品揃えや売場を変化させ、お客さまに「いつも売場が違う」「新しい商品がある」と感じていただけるように努めております。また季節ごとに料理提案や品揃えも充実させ、お客さまの食卓に旬をお届けしています。

食品スーパーマーケットの強みは生鮮三品とデリカであり、お客さまのご要望が多い青果とデリカについては徹底強化を図っております。その一環としてデリカ売場では作り立てをタイムリーに提供し、特にお弁当は午前・午後で品揃えを変えるなど、お客さまのニーズに合わせてきめ細かく売場を変えることで、常に出会いと発見のあるお店づくりを実践しております。

～2016年2月期の主な取り組み～

スローガン「変革」「実行」の下、 お客さま満足の実現に向けて生鮮・惣菜強化に着手

マックスバリュ関東では、お客さま満足の実現に向けて「変革」と「実行」をスローガンに掲げ、生鮮・デリカ強化に着手。青果売場を中心にレイアウトおよび品揃えを変更し、地元に着着した商品の取扱い強化を図るとともに、デリカ部門では新規ベンダー開拓と新製品の積極的投入等を実施いたしました。営業面では、冠セールである「火曜市」の再強化に取り組み、生鮮中心に品揃えの幅を拡げました。

新規の取り組みとして、日本を訪れる外国人観光客の方々が、日本でたくさん買い物をする「インバウンド消費」が加速する中、成田市にオープンした「マックスバリュ成田富里店」では、インバウンド対応店舗として免税カウンターを設置し、外国人観光客に人気の高い日本茶、抹茶、シリアル、お菓子等をコーナー化した売場展開をしています。地域のお客さまには、銚子漁港から直送される鮮魚や、地物の食材をご提供して千産千消*を推進しています。

また当期より営業サポート部を新設し、店舗オペレーション力の向上や働き方の改革を通じ、一層の現場力強化にも取り組みました。経営効率の観点から店舗閉鎖を行うなどの結果、マックスバリュ関東の当期の営業収益は前期比3.5%減の47,721百万円となりました。

※ 千産千消：千葉県産商品の地産地消

マックスバリュ関東株式会社 会社概要

本 社 所 在 地 東京都江東区亀戸

創 業 2009年12月

資 本 金 1億円

店 舗 数 39店舗

従 業 員 数 1,994名

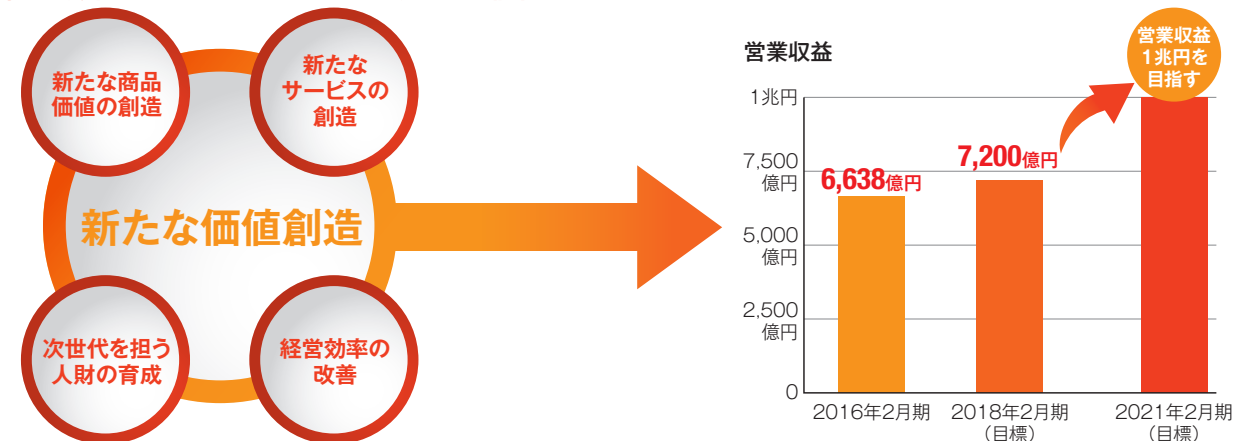
※2016年2月末現在



中期経営方針の推進

U.S.M.Holdingsは、「新たな商品価値の創造」「新たなサービスの創造」「次世代を担う人財の育成」「経営効率の改善」の4点を基本戦略とする中期経営方針を策定、推進しております。2016年2月期、「グループシナジー効果実現委員会」を設置し、10のプロジェクトチームを組成。グループ3社から成るメンバーを中心に、シナジーの創出に取り組んでまいりました。

中期経営方針 ～統合シナジーによる新たな価値創造～



Strategy

新たな商品価値・サービスの創造

2016年3月に「商品デザインタスクチーム」を新たに発足。徹底した市場研究(商品情報、顧客ニーズ、エリア情報等)のもと、首都圏のお客さまのニーズを満たす商品開発・商品調達を進めてまいります。またお客さま満足を高める定期的な共同販促企画や食提案のスケールアップなど、商品を通じた新しい価値をご提供し、お客さまの豊かで健康的な食生活の実現を目指してまいります。

今後の構想として、グループ全体を網羅したICTを基点とするマーケティング分析データの共有なども視野に入れながら、お客さまの新たなニーズに合ったサービス・利便性のご提供を目指してまいります。



次世代を担う人財の育成

新たな教育体制の構築・能力開発プログラムの推進や人財交流を積極的に展開。3社の企業文化を知り、学び合い、お互いに相手の優れた部分を吸収することにより、自らの成長を実感し、地域社会に貢献できる人財を育成していくことを目指してまいります。



経営効率の改善

経営の質的向上へ向けて、広報IR・法務・経理・財務など本部の機能集約を推進。また2016年3月に「ICT*ビジネスデザイン室」を設置し、単なる効率追求のための情報技術ではなく新たなシナジー創出に向けた、プラットフォームづくりをスタートしました。これら諸施策をはじめとする経営効率の改善により、持続的な発展・成長を果たし地域社会に根ざした企業であり続けることを目指してまいります。

※ ICT：インフォメーション&コミュニケーション・テクノロジー

U.S.M.Holdingsグループの社会貢献・環境保全への取り組み

U.S.M.Holdingsの環境基本方針

ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングスグループは

環境問題が地球的規模の重要な課題であることを認識し、健全な事業活動を通じて、社会・経済の発展、地域との共生による持続可能な循環型社会を目指し、グループの総力を結集し、地球環境保全に努めます。

1. 事業活動を通じて、省資源、省エネルギーに積極的に取り組みます。
2. 環境に配慮した商品、資材の開発と普及に取り組みます。
3. 廃棄物の減量化とリデュース・リユース・リサイクルを推進します。
4. 地域における環境保全活動に貢献し、地域との調和に努めます。
5. この方針に従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりの環境保全に対する心を育み、全社的なレベル、全従業員参加の取り組みとします。
6. この方針は社内外に公表し、積極的な情報提供に努めます。

U.S.M.Holdingsグループの主な取り組み

環境負荷低減・CO₂削減

リサイクル活動

各社店頭でリサイクルボックスを設置し、食品トレー、牛乳パック、ペットボトル等の再生可能資源の回収を行っています。特にカスミでは全店に設置した「リサイクルステーション」でリサイクル資源を回収し、一次処理を行う「カスミリサイクルセンター」にてそれらの選別・保管等を行っています。2016年4月には新センターも開設し、より安定したリサイクル体制の確立を目指しております。



ゴミ削減意識の向上

マルエツではゴミ削減意識の向上のため、廃棄物排出量が数値化される廃棄物計量管理システムを、マルエツ屋号店舗を中心に200店舗以上で導入しております。排出量が数値化されることで、従業員一人ひとりの「削減しよう」という意識を高め、廃棄物の削減に努めています。



省エネルギー

カスミでは、自然エネルギーの活用を積極的に進めており、太陽光発電を行い、店舗で使用するエネルギーの一部を賄っています。23店舗で太陽光発電を実施し年間発電量418万kwhを電力会社へ売電しております。

また、各社で消費電力が少なく、寿命の長いLED照明を導入しており、冷蔵機器への使用や調光機能付導入により負荷低減を行っています。冷ケースにナイトカバーをつける、夜間停止タイマーをつけるなど、個店ごとに電気使用量削減に取り組んでいます。

レジ袋削減運動

お客さまのご協力のもと、様々なレジ袋削減運動を推進しております。マルエツでは、レジ袋をご辞退いただいたTカードご利用のお客さまへ、エコポイントとしてTポイント2ポイントを進呈。カスミでは、レジ袋無料配布中止店舗で販売されたレジ袋の販売収益金が環境保全などに役立てられております。またマックスバリュ関東ではお客さまから使用済みレジ袋を回収し、マイバッグをご持参されなかったお客さまに活用していただく活動をしております。

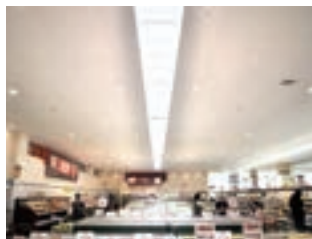


カーボン・オフセット

お客さまにお配りするレジ袋を製造する際にも排出されるCO₂。マルエツではこれを、岩手県、宮城県（登米市）、福島県（喜多方市）が実施する森林保全活動で吸収されるCO₂の排出量を購入して埋め合わせ（オフセット）する、「カーボン・オフセット」の取り組みを実施。地球温暖化防止だけでなく、東日本大震災の被災地域の環境保全活動や地域社会も支援する仕組みとなっております。



太陽光発電



LED照明、天然の自然採光も利用

森林保全・植樹活動

マルエツでは「武蔵野の森再生事業」に参画。埼玉県日高市横手にある「マルエツの森」では山桜などを植樹し、保全活動として毎年春と秋に従業員ボランティアによる下草刈りを実施しております。またカスミでは、茨城県笠間市にある「カスミ共感創造の森」で毎年5月にお客さまとともに植樹祭を開催。マックスバリュ関東では、店舗周辺の緑化活動に取り組んでおります。



安全・安心への取り組み

放射性物質への自主検査

お客さまに安心して食品をお買い求めいただけるよう、放射性物質の検査体制を整えています。マルエツ、カスミでは自主検査を行っておりサンプル検査を行った生鮮食品や牛乳、豆腐などについて検査結果を自社のホームページで公表しております。



社会貢献への取り組み

盲導犬育成支援

募金活動による盲導犬の育成支援や、お客さま向けに盲導犬訓練センターの施設見学会などを開催。マルエツでは1993年から継続実施している「盲導犬育成募金」を通じ、公益財団法人日本盲導犬協会への2015年度までの累計寄付金額は約2億5千万円となっております。またカスミでは、盲導犬に対する地域理解と支援を広げるべく、同協会のご協力のもと、「カスミ盲導犬フレンドクラブ」を定期的に開催しております。



写真提供：日本盲導犬協会



募金活動

マルエツならびにカスミ、マックスバリュ関東では、日本テレビのチャリティー番組24時間テレビ「愛は地球を救う」に参加しております。



「ISO14001」認証の取得

マルエツ、マックスバリュ関東では環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得しております。特に環境負荷の高い「電気使用量削減」や「食品廃棄物の削減」、「可燃ゴミ排出量の削減」（マックスバリュ関東は「一般廃棄物の削減」）、「レジ袋辞退率の向上」（マルエツは「レジ袋辞退者数のアップ」）などを全店の環境目標として設定しています。全事業所での環境保全活動等を継続し、「ISO14001」認証取得事業所にふさわしい取り組みを推進してまいります。



品質管理「ISO22000」「ISO9001」認証の取得

マルエツでは、精肉、鮮魚の生鮮加工センターにおいて、食品安全マネジメントシステムの国際規格「ISO22000」認証を取得し、安全で高品質な食品供給を実践していることを証明しています。また、カスミでは、お弁当、惣菜などを製造・加工するカスミグループの㈱ローズコーポレーションで品質マネジメントシステムの「ISO9001」認証を取得し、品質管理を徹底し、お客さまへ安心をお届けいたします。

東日本大震災復興支援

カスミでは、2011年より陸前高田市への支援活動を継続しています。復興支援カレンダーによるチャリティー活動を全社で行い、集められた募金を陸前高田市立小中学校復興基金に寄贈。5年目の2016年3月には、贈呈式に合わせ、約300名が参加するイベントを行いました。また2012年より継続している「陸前高田七夕まつり体験学習」では、毎年8月7日に行われる七夕まつりに合わせ、出店エリアの小学生たちとカスミ新入社員が2泊3日で現地を訪問。被災地の「今」を知り、被災者の体験談から生き抜く力や知恵を学びます。七夕まつりへの参加で、現地の人と共に山車を引くことで交流を深め、人との絆の大切さを学びます。



ペットボトルキャップ回収でワクチン寄贈

各社で、ペットボトルキャップの店頭回収を行っています。その売却益を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（JCVC）を通じて寄付することで、世界の国々へワクチンをお贈りしています。（一部実施していない店舗もございます。）

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

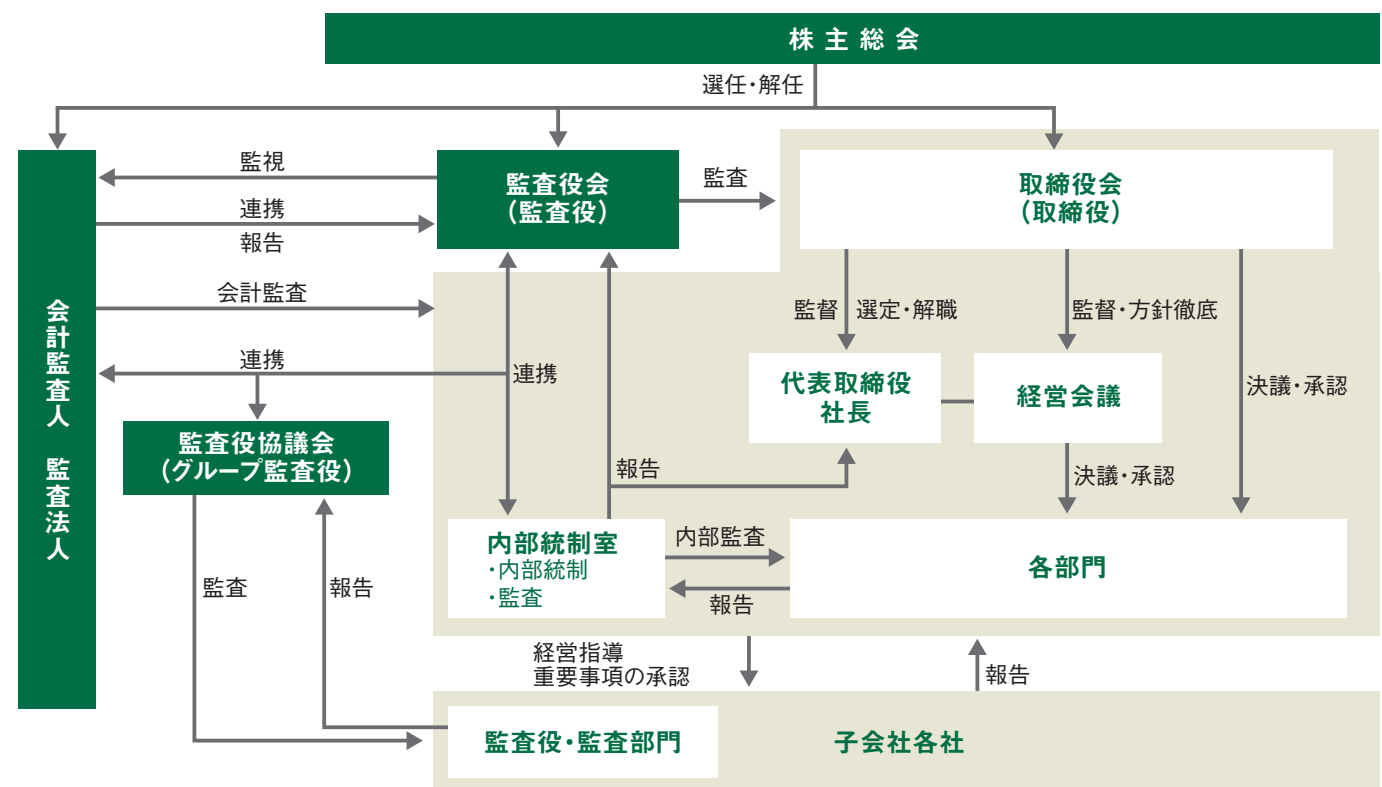
- 取締役会

取締役会は取締役9名(うち社外取締役3名)で構成され、監査役5名も出席しております。取締役会は、原則として毎月1回開催しており、必要に応じて臨時取締役会を開催します。取締役会において各取締役は、法定の決議事項及び取締役会規程に定める付議事項を審議・決議し、法令遵守と適切なりスク管理の下で取締役の業務の執行状況について監督を行っております。また、当社は純粋持株会社として、事業会社における重要な決議事項の当社への報告を定め、事業会社の適正な業務執行を統治しております。

監査役会

監査役会は、監査役5名(うち社外監査役3名)で構成され、原則として毎月1回開催しており、必要に応じて臨時監査役会を開催します。監査役会において各監査役は、監査に関する重要な事項について報告を受け協議し、決議を行います。各監査役は、監査役会が定めた監査の方針、業務分担等に従い、取締役の職務執行の適法性、財産の状況等の監査を行っています。また、事業会社の監査役及び内部監査部門との連携を図ることを目的に「グループ監査役連絡協議会」を開催し、実効性の高い監査に努めており、統治機能及び内部監査機能の強化を図っております。

コーポレート・ガバナンス体制の模式図



連結貸借対照表

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	29,471
受取手形及び売掛金	419
たな卸資産	16,244
未収入金	17,046
繰延税金資産	2,184
その他	2,722
貸倒引当金	△169
流動資産合計	67,920
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	60,020
土地	42,344
その他(純額)	17,919
有形固定資産合計	120,284
無形固定資産	
のれん	15,482
その他	2,239
無形固定資産合計	17,722
投資その他の資産	
投資有価証券	7,398
繰延税金資産	5,215
差入保証金	34,210
その他	1,648
貸倒引当金	△392
投資その他の資産合計	48,079
固定資産合計	186,086
資産合計	254,006

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	47,030
1年内返済予定の長期借入金	3,900
未払法人税等	3,641
賞与引当金	1,795
店舗閉鎖損失引当金	235
株主優待引当金	256
その他	22,981
流動負債合計	79,841
固定負債	
長期借入金	25,700
繰延税金負債	163
役員退職慰労引当金	365
転貸損失引当金	211
退職給付に係る負債	2,365
資産除去債務	4,580
その他	9,115
固定負債合計	42,500
負債合計	122,342
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	104,319
利益剰余金	16,595
自己株式	△7
株主資本合計	130,907
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△205
為替換算調整勘定	323
退職給付に係る調整累計額	144
その他の包括利益累計額合計	263
少数株主持分	493
純資産合計	131,664
負債純資産合計	254,006

連結財務諸表 (2016年2月29日終了の事業年度)

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	649,539
売上原価	466,344
売上総利益	183,194
営業収入	14,259
営業総利益	197,454
販売費及び一般管理費	183,430
営業利益	14,024
営業外収益	
受取利息	97
受取配当金	55
補助金収入	116
その他	295
営業外収益合計	565
営業外費用	
支払利息	233
持分法による投資損失	137
補償金返還額	93
その他	262
営業外費用合計	727
経常利益	13,862
特別利益	
固定資産売却益	264
投資有価証券売却益	0
特別利益合計	264
特別損失	
減損損失	2,734
店舗閉鎖損失引当金繰入額	235
店舗閉鎖損失	210
投資有価証券売却損	12
特別損失合計	3,192
税金等調整前当期純利益	10,934
法人税、住民税及び事業税	5,553
法人税等調整額	202
法人税等合計	5,756
少数株主損益調整前当期純利益	5,177
少数株主損失(△)	△151
当期純利益	5,329

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55
現金及び現金同等物の減少額	△4,755
現金及び現金同等物の期首残高	20,481
株式移転に伴う現金及び現金同等物の増加額	13,744
現金及び現金同等物の期末残高	29,470

会社概要および株式情報 (2016年2月29日現在)

概 要		
設 立	2015年3月	
資 本 金	100億円	
事 業 内 容	スーパーマーケット事業の管理	
本 社	東京都千代田区神田相生町 1 番地	

グループ会社

株式会社マルエツ

事業内容 食料品、家庭用品、衣料品等の小売販売を行うスーパーマーケット事業
本社：東京都豊島区東池袋5-51-12

株式会社カスミ

事業内容 食料品、家庭用品、衣料品等の小売販売を行うスーパーマーケット事業
本社：茨城県つくば市西大橋599-1

マックスバリュ関東株式会社

事業内容 食料品、家庭用品、衣料品等の小売販売を行うスーパーマーケット事業
本社：東京都江東区亀戸5-30-3

取締役・監査役			(2016年5月19日現在)
代表取締役会長	小 濱 裕 正		
代表取締役社長	上 田 真		
代表取締役	手 塚 大 輔		
取締役副社長	藤 田 元 宏		
取締役	古 瀬 良 多		
取締役相談役（非常勤）	岡 田 元 也		
社外取締役（非常勤）	秋 吉 満		
独立社外取締役（非常勤）	鳥 飼 重 和		
独立社外取締役（非常勤）	牧 野 直 子		
常勤監査役	細 谷 和 夫		
常勤監査役	内 田 勉		
社外監査役（非常勤）	笹 岡 晃		
社外監査役（非常勤）	宮 武 正 容		
独立社外監査役（非常勤）	岡 本 忍		

WEBサイトのご案内

当社の最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報や財務情報など、投資家の皆さまに当社をご理解いただけるよう、様々なコンテンツを掲載しております。

<http://www.usmh.co.jp/>

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス

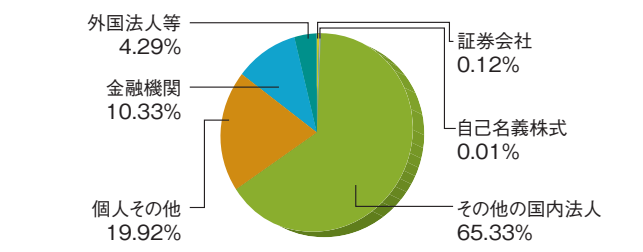
株式の状況	
発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式の総数	131,681,356株
株主数	57,306名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオンマーケットインベストメント株式会社	67,159	51.00
カスミ取引先持株会	2,859	2.17
公益財団法人神林留学生奨学会	2,300	1.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,178	1.65
イオン株式会社	1,629	1.24
日本生命保険相互会社	1,531	1.16
株式会社日本アクセス	1,473	1.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,343	1.02
国分グループ本社株式会社	1,099	0.84
三菱食品株式会社	1,073	0.82

(注) 持株比率は自己株式(6,674株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス 株式会社
United Super Markets Holdings Inc.

証券コード:3222

〒101-0029 東京都千代田区神田相生町1番地

TEL : 03-3526-4761

URL : <http://www.usmh.co.jp/>

